秋、見～つけた！

年 中



２０２６年 １０月

心地良い秋晴れの中、子ども達は、風を切りながら元気に園庭を走り回っています。

夏、幼稚園のシンボルでもある栴檀の木は、大きな日陰を作ってくれました。

秋になり、枝や葉を落とし始めました。葉っぱはお店屋さんごっこのお金になったり、
枝は枝相撲やお絵描きの道具になったりします。沢山集めて自転車のガソリンにもなります。

蜜柑は、例年よりも色づくのが早く、子ども達は「もう食べられる？」とわくわくしています♪
緑色の皮は酸っぱいこと、沢山太陽の光を浴びて、もっと濃いオレンジになったら食べられることを
伝えると、「あ！これ緑少ない！」「これ美味しいよ絶対！」とじっくり観察しながら、
美味しそうな蜜柑を探しています。
蜜柑の葉が落ちて丸くなっている様子に気が付くと、「お皿みたい♪」「お舟だ！」と
想像力を膨らませ、水溜まりに浮かべる姿もありました。











また、柿の実が大きくなっていることに気が付きました。
季節の移り変わりを遊びの中で感じ、身近な自然に触れながら、各々の秋を見つけています。

お部屋にも桃組さんが作った  を飾っています♪

